

## 新刊案内



『引きこもり姉ちゃんのアルゴリズム推理』		
井上 真偽/著	朝日新聞出版	T/イマ
『あの子の隣で待つ春は』		
上田 聡子/作	文研出版	T/ウサ
『杯』 乙女の本棚		
森 鷗外/著	立東舎	T/モオ
『SNSから心を守る本 被害者にも加害者にもならないために』		
小木曾 健/監修	Gakken	T007/エス
『中高生のための文化の謎を知る本 文化を学ぶことが未来への扉を開き、自己発見につながる!』		
DBジャパン/編集	DBジャパン	T028/チュ
『図解でわかる14歳からの自分を助ける心理学』		
社会応援ネットワーク/著	太田出版	T140/スカ
『会社員以外の働き方 フリーランス・起業・副業、君に合った夢の叶え方がわかる本』		
	Gakken	T366/カイ
『10代のつらさに寄りそう本 人への優しさと、想像力が身につく』		
田村 節子/監修	Gakken	T367/シユ
『もしもハチがいなくなったら?』		
横井 智之/著	岩波書店	T486/ヨト
『楽しくはじめるひとり暮らしのきほん』		
成美堂出版編集部/編	成美堂出版	T590/タノ
『てっぱく発鉄道物語』		
荒木 文宏・奥原 哲志/著	岩波書店	T686/アフ
『メイジアン・カンパニー 魔法科高校の劣等生 続』 9		
佐島 勤/著	KADOKAWA	TB/サツ



## ティーンズのココロ通信

令和7年5月1日 発行

Eメール : [info@lib-yama.jp](mailto:info@lib-yama.jp)

HP : <https://www.lib-yama.jp>

山口市立中央図書館 257号

〒753-0075 山口市中園町7-7

TEL : 083-901-1040

FAX : 083-901-1144



# 植物



今月のテーマは「植物」です。

新緑が美しい快適な季節になりましたね。家庭でのガーデニングや野菜の栽培に最適な時期でもあります。今月は植物に関する書籍を紹介します。この季節にふさわしい爽やかな気持ちを味わえることでしょう。



●『植物図鑑』

有川 浩／著 角川書店 /アヒ

行き倒れていたところを助けた事がきっかけで、社会人のさやかはイツキという男性と同居しています。名前以外は何も教えてくれないイツキですが、優しく料理上手で、趣味は野草採取。採取にさやかも同行することが増え、自分で採った野草をイツキに料理してもらうのが都会育ちのさやかには新鮮でした。そうして一緒に過ごすうちにさやかはどんどんイツキに惹かれていきますが、ふとしたことで2人の関係がこじれてしまって…。(S. E)

●『園芸少年』

魚住 直子／著 講談社 T/ウナ

要領よく日々を過ごすことに長けている篠崎達也と、見た目や言葉遣いはこわいが気のいい大和田一平と、段ボール箱を頭にかぶり相談室登校で成績の良い庄司善男。タイプも違うし、園芸も初心者の高1男子3人が、なりゆきから園芸部へ入るはめに！？植物を育てていく中で、友情をはぐくみ、それぞれが抱えていた過去にも向き合って成長していきます。植物の様子に驚き、喜び、時には胸を痛める彼らの姿がとても微笑ましく、優しい気持ちになれる1冊です。(R.S)

●『歌う樹の星』

風野 潮／作 ポプラ社 T/カウ

地球環境によく似た星「ランタナ星」。そこへ国際植物保護機構の職員として派遣された水希と兄の生樹。森の中で何者かに追われている少年ジュリと出会う。水希には樹木と会話ができるという特殊能力があり、ジュリに連れられ「ハハノキ」のもとまでやってきた。「ハハノキ」とはランタナ星を構成する大事な樹だった。宇宙開発と「ハハノキ」を巡り人々の陰謀がうずまき、人間と木々が心を通わせるSFファンタジー。(T. O)

●『美しい花言葉・花図鑑 彩りと物語を楽しむ』

二宮 孝嗣／著 ナツメ社 T627/ニコ

この本では、花の名前や花言葉に込められた思いを、由来となったエピソードを通して知ることができます。まず、紹介されている花の種類が豊富で、さらに花の色ごとに花言葉が載っているの、それぞれを見比べることも出来ます。花言葉から花を調べられる逆引き索引もあります。そして、図鑑というよりはもはや写真集と呼びたいような美しい花の写真と構成も特徴です。手元に置いてふいに眺めたくなる素敵な本となっています。(S. E)

●『花咲家の人々』

村山 早紀／著 徳間書店 B/ムサ

花屋「千草苑」を営んでいる花咲家には植物と会話ができる不思議な力がありました。植物が危機を知らせたり、花咲家の人々の声を受けとめて願いを叶えたり…。その力により大小さまざまな奇跡が起こっていきます。10年かけて大切に作られたロックガーデン、その植物たちが祈り続けていたこととは一体何でしょう。ぜひ本を読んで確かめてみてください。「花で人を幸せにしたい、花のことも幸せにしたい」そんな思いを抱いた時、人は誰も魔法のように植物と心を通わせているのかもしれない。(R. S)

●『毒図鑑 生きていくには毒が必要でした』

丸山 貴史／著 幻冬舎 T481/マタ

昆虫や魚、植物にある「毒」を紹介する。植物では、毒キノコがよく知られているが、じゃがいもの芽や花粉症を引き起こすスギも「毒」の一種と考えられる。「毒」と聞けば、身体に悪いイメージだが、タイトルにあるように、「生きていくには毒が必要」とそれなりに理由がある。「どうして、どのように、毒を進化させたか」という点に触れて書かれており、興味深い。(T.O)